

日本外交文書

外務省

昭和期Ⅲ 第三卷
(昭和十二—十六年 移民問題・雑件)

序

外務省では、明治維新以降のわが国外交の経緯を明らかにし、あわせて外交交渉上の先例ともなりうる基本的史料を提供する目的で、昭和十一年『日本外交文書』第一巻を公刊した。

以来、既に明治・大正期の刊行を終え、昭和期についても、満州事変、海軍軍縮問題、および日米交渉（昭和十六年）等の特集とともに、昭和期Ⅰ（昭和二一—六年）および昭和期Ⅱ（昭和六一—十二年）の外務省記録の編纂・刊行を終えた。

戦前期の最後となる昭和期Ⅲ（昭和十二—二十年）については、「日中戦争」、「第二次歐州大戦と日本」および「太平洋戦争」の三つの特集を既に刊行したが、昭和期Ⅲ第一巻から第三巻では、既刊特集で採録しなかつた事項について関係文書を収録する。これら三巻をもつて昭和戦前期の刊行は完了し、『日本外交文書』の通算刊行冊数は二二五冊となる。

激動の時代といわれる昭和期を顧みるにあたって、本巻が正確な史実を提供し、外交問題の歴史的研究に資するとともに、現在の国際関係を考察する上でも貢献できれば幸いである。

平成二十六年十月

外務省外交史料館長

例　　言

一 太平洋戦争終結に至るまでの昭和期（昭和二十二年～三十年）の外交文書は、次の三期に分けて編纂・刊行している。

昭和期Ⅰ 昭和二十六年（一九二七～一九三二）

昭和期Ⅱ 昭和六十二年（一九三一～一九三七）

昭和期Ⅲ 昭和十二～二十年（一九三七～一九四五）

二 昭和期Ⅲについては、「日中戦争」、「第二次欧州大戦と日本」および「太平洋戦争」の三つの特集を中心構成し、これら特集で採録しなかつた事項については、昭和期Ⅲ第一卷から第三卷に關係文書を収録する。

三 昭和期Ⅲ第一卷から第三卷では、既刊特集で採録しなかつた昭和期Ⅲの關係文書を、三卷に分けて事項ごとに収録する。

1 収録文書は、基本的に外務省所蔵記録によつた。

なお、収録文書の冒頭に※印のあるものは、外務省記録「松本記録」（松本忠雄元衆議院議員が、外務参与官および外務政務次官時代に、外務省記録のうち、特に政治、外交等の主要記録を筆写したもの）に依拠した。

2 また外務省所蔵記録に加え、東京大学社会科学研究所所蔵「島田（俊彦）文書」、首都大学東京図書情報センター所蔵「松本文庫 文書の部」、国立公文書館所蔵「公文類聚」および「極東国際軍事裁判関係文書（米国議会図書館作成マイクロフィルム）」より文書を補填した。

なお、東京大学社会科学研究所所蔵史料より補填した文書については冒頭に◎印を付し、首都大学東京図書情報センター所蔵史料より補填した文書については冒頭に※※印を付し、その他については末尾にその旨を記した。

- 3 収録文書は、原則として原文のままとした。
- 4 収録文書には、一連文書番号および件名を付し、各事項ごとに日付順に配列した。
- 5 収録文書中発電月日不明の電報は、着電の日付を記し、1月(15)日のように丸括弧を付して区別した。また、原文には発電月日が記されていないが、他の外務省所蔵記録から特定される場合は、その発電月日を採用し、2月[18]日のように角括弧を付して区別した。
- 6 収録文書中右肩に付した(1)(2)(3)等の記号は、同一番号の電報が分割されて発電されたことを示す。なお、収録にあたっては、文章の区切りではなくとも分割された箇所をもつて改行した。
- 7 収録文書中来信については、公信番号の下に接受日を明記し、接受日不明のものについては当該箇所にその旨を記した。
- 8 発受信者名については、初出の場合のみ姓名を表示し、以後は姓のみにとどめた。また発受信者名に付す国名・地名は、原則として辞令に基づく在勤地とした。
- 9 採録にあたって加えた注記は、(編注)として当該箇所に明記し、その文面は各文書の末尾に記載した。
- 10 原文書に欄外記入や付箋がある場合は、(欄外記入) (付箋)として当該箇所に明記し、その文面は各文書の末尾に記載した。
- 11 収録文書中(省略)(ママ)等の括弧を付したルビは、収録にあたって記したものである。

- 12 原文書で印字不鮮明等の理由により判読不明な文字は□とし、（一字不明）のようにルビを付した。
- 13 押印については、公印と私印をそれぞれ〔印〕と（印）に区別して記した。
- 14 昭和期Ⅲ第三巻末尾に昭和期Ⅲ第一巻から第三巻の全収録文書の日付順索引を付した。

八

移民問題

1 米国

2 フィリピン

3 カナダ

4 ブラジル

5 ペルー

九

雑 件

1 新南群島の日本領土への編入問題

2 故斎藤駐米大使の遺骨送還

3 貿易省設置問題

4 極東におけるユダヤ人避難民問題

5 諸外国との航空連絡交渉

1682

1614

1583

1568

1537

1535

1479

1442

1417

1390

1363

1361

6 国際捕鯨問題

7 ブリストル湾における鮫漁問題

8 パナマにおける邦人への営業停止問題

9 東京オリンピックおよび日本万博計画

10 皇紀二千六百年祝賀のための満州国皇帝訪日

日本外交文書 昭和期Ⅲ 第一巻～第三巻 日付索引

(以上、第三巻)

1859 1827 1807 1780 1718

一 外交政策一般

二 諸外国との外交関係

三 ソ連邦との関係

1 日ソ諸案件交渉

(1) 一般問題

(2) 在ソ日本領事館閉鎖問題

(3) 北樺太利権および漁業権益に対するソ連の圧迫

2 満ソ・満外蒙国境紛争

(1) 乾岱子島事件

(2) 張鼓峰事件

(3) ノモンハン事件

四

枢軸国との関係

1 一般問題

2 秩父宮訪独問題

3 独国の旧植民地回復要求問題

4 貿易協定をめぐる交渉

(1) 日独貿易協定

(2) 日滿伊貿易協定

5 文化協定をめぐる交渉

五

歐州政情

1 一般政情

(以上、第一巻)

2 スペイン内乱

3 ドイツによるオーストリア併合

4 ドイツによるチェコスロバキア解体

(1) ズデーテン地方をめぐるドイツの要求

(2) ミュンヘン会談

(3) チェコ併合とスロバキアの保護国化

5 イタリアによるアルバニア併合

六 國際連盟との諸問題

付 國際會議への參加協力

七 諸外國との通商問題

1 日米通商問題

2 日印・日緬会商

3 日蘭会商

4 日豪通商問題

(以上、第二卷)